



SSKW すてっぷ だより

編集 社会福祉法人すてっぷ すてっぷ後援会
〒379-2164 群馬県前橋市東上野町 136 番地 1
TEL 027-290-6161 FAX 027-290-6162 <http://www.s-step.com> w-step@s-step.com

No.68



平成29年度 すてっぷ後援会総会開催

おかげさまで、現在の後援会員の方々は153名。すてっぷが群馬町（現在の高崎市）の小さな一軒家からスタートして27年が経とうとしています。今では、12の部署で障害のある方の「働くこと」「暮らすこと」「楽しむこと」を全力で支えています。

そんなすてっぷを応援する私達後援会もさらに会員を増やし強かにサポートする一年にしましょう！

会長 猿木素子

4/24(月) 総会&「あったらいいなをカタチに～すてっぷの歩み～」講演会

10:00～10:30 すてっぷ後援会総会

10:40～12:00 『あったらいいなをカタチに ～すてっぷの歩み～』講演会

わーくはうす すてっぷ施設長 鈴木 隆子 氏

前橋市障害者生活支援センター長 坂柳 幸子 氏

(有)サンサンすてっぷ代表取締役 今野 みや子 氏

会 場 : 前橋市総合福祉会館（前橋市日吉町2-17-10）3階 第1会議室

7/22(土) すてっぷ夏祭り

毎年春に開催していたすてっぷ祭りが
今年は夏に開催されます。

GOROPIKA



12/2(土)～12/3(日) 第7回チャリティハンドメイド展

県内外から手作り作家さんの作品とエイブルアート
作品たちが1年間の集大成として大集合です。
みなさま、お楽しみに！



ケーナ演奏会 時期未定

南米の縦笛『ケーナ』の美しい音色を一緒に楽しみませんか？

ケーナ奏者 Ren 氏：日本では数少ないケーナ奏者として、全国各地でコンサート等開催中。

☆平成29年度後援会費の納入をお願いします☆ 総会当日受け付けております！

後援会費 個人会員 3,000円～（1口 3,000円以上）

団体会員 10,000円～（1口 10,000円以上）

上記の会費を直接後援会事務局へお持ちいただくか、郵便振込にてお申込みください。

口座番号 00120-4-192242

加入者名 「すてっぷ後援会」

新人職員紹介



しのはらけいこ
篠原景子

すてっぷパン班で11月より勤務しています。慣れない日々が続いていますが、前職の調理経験を色々な形で活かしながら、知らない事にも取り組み自己成長して行きたいと思っています。どうぞご指導の程よろしくお願い致します。

東京福祉大学を卒業し、4月からこちらで働かせていただきます。大学では、福祉の分野を学び、サークルではバレーボール部のマネージャーに所属しておりました。サークルや大学の友人からは、明るく前向きで、人見知りをしない性格と言われていました。この性格を活かし、皆さんと楽しく生活やお仕事をしていきたいと思っています。まだまだ未熟な私ですが、皆さんからのご指導のもと日々成長をしていきたいと思っています。これからどうぞ宜しくお願い致します。



いしいみき
石井美輝

四月からすてっぷの一員として働かせていただくことになりました。分からないことも多くあると思いますが、早く仕事を覚えてみなさんと楽しくお仕事ができるように努力していきたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。



つちやみか
土屋美佳



かべりゅうた
加部 竜太

1月より、ぴいす群馬県立女子大学内の購買やカフェ内のパンを製造しています。今まで14年間パン製造の職に就いており、今回初めて大学という場所でのパン製造をさせていただきます。たくさんの人を笑顔にさせることの出来る商品や売り場づくりを目指して頑張りたいと思います。どうぞ、よろしくお願い致します。



かさいりょういち
笠井 遼一

3月に高崎健康福祉大学を卒業し、4月からすてっぷで働かせていただくことになりました。利用者の方々や職員の皆様との関わり合いの中からたくさんのことを学んでいけたらと思っています。どんな事へも誠実に向き合って頑張っていきます！よろしくお願い致します。



あべゆうこ
安部 祐子

4月からヘルパーステーションでお世話になります。前橋市内の特別支援学級に通う小・中学校の皆さんを対象に6年間ボランティア活動に参加しておりました。ふれあいの中でもっと沢山の支援を必要とする方と関わりを持ちたいと思う様になり2年前に前橋医療福祉専門学校で学びました。1日1日が過ごしやすく、その人らしい生活が送れるよう共に考えていけるようなスタッフを目指し頑張りたいと思います。よろしくお願い致します。

第10回 合同利用者会総会

2月25日(土) 前橋総合福祉会館の多目的ホールで合同利用者会総会が開催されました。

役員の人たちは緊張した面持ちで会場前に設置したテーブルに着席後、司会進行により総会が開始されました。28年度の事業や決算報告、29年度の予定や予算案を審議しました。また、29年度の新役員紹介が行われ、29年度の利用者会会長であるわーくはうのNさんによる挨拶がありました。

28年の役員さんお疲れさまでした。29年度の役員さん、12月の合同忘年会を楽しみにしていますので、よろしくお願い致します。



資料を見ながら決算報告の審議中



発表ありがとうございました(*^▽^*)

総会の後は、就職報告会が開催されました。

わーくはうすやびいすの就労継続B型事業の利用から、とらっぱの就労移行支援事業に異動し、就職をした3名の方に発表者として参加して頂きました。現在3名をサポートしているワークセンターまえばしのスタッフが職場での様子を写真や動画を交えて説明した後、「就職をしようと思った時の気持ち」「就職して感じたこと」「これから就職を目指そうとしている人に一言」を発表して頂きました。以前一緒に作業をした利用者さんはとても懐かしい再会となり、就職を考えている人はとても励みになりました。

法人合同研修 Part① HCR 研修発表会

平成29年3月18日（土）第2回目となる法人合同研修を行いました。

社会福祉法人すてっぷでは職員のスキルアップを目的として職員研修に力を入れており、その職員研修の集大成としてHCR研修（4回目）・自閉症研修（4回目）・各事業所での支援を通しての事例発表（2回目）を行いました。すてっぷでは、道具で生活が変わるという事例がたくさんあります。

研修を行うスタッフは日頃支援している「〇〇さんの〇〇を改善したい、〇〇をより良くしたい」という課題をもって臨み、10月に東京ビックサイトで開催されている国際福祉機器展への視察研修を行い、持ち帰った資料や情報、学んできたことを基に課題に取り組んだ成果を発表しました。

事例①『楽しい食事を』

～使いやすい食器を活用して～

課題：ご飯が少なくなるとすくえない

取組み：食器の変更

弱視に対して色や形も検討する

結果：自分ですくえるようになった

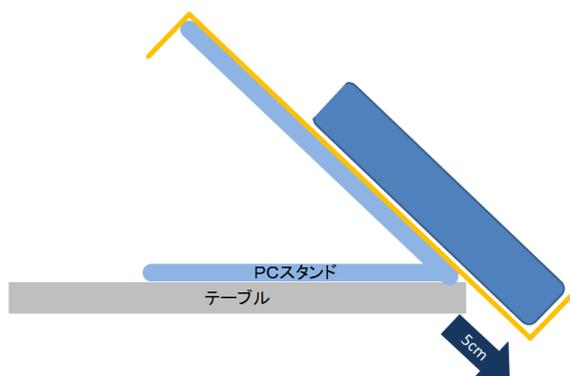
発表者：ケアホームRUN 長壁



食器：端に食べ物を寄せれば自然にすくえる。黒い食器はコントラストを利用して食べ物が見えやすくなった。【写真：でく工房】

■ 方法2

・現状の工夫（治具を作りPCの位置を下げる）



事例②『在宅勤務へ向けて』～無理のないパソコン操作～

課題：パソコン作業への環境整備・パソコン作業時の疲労軽減

取組み：環境改善提案・治具の作成

結果：作業時の姿勢改善を行えた

発表者：ワークセンター 服部

提案した道具は、金銭面で導入が難しかったため、手作りの治具を導入し、身体的な負担の軽減と作業姿勢の改善に繋がった。

事例③『道具を活用してより良い生活を』

課題：日中活動でベッド静養の時間を設けて

しっかり身体を休めたい

取組み：ベッド静養でリフト導入を行う

結果：リフト導入できる環境を整えた

発表者：わーくはうすすてっぷ 阿部

移乗に使用するスリングは、トイレ用と移乗用の2種類を使い分けています。写真は移乗用スリングのスタッフ間での試乗の様子です。ノーリフト（持ち上げない介護）実現に向けて手順書の作成等他の職員も介助に入れるように練習中です。



今回の研修がきっかけとなり、継続的に支援を行うことによって、さらなる利用者のニーズを叶えるべく、支援の向上に努めていきたいと考えています。

研修委員 松井 智紀

法人合同研修 Part② 自閉症研修発表会

平成28年9月よりおよそ半年間にわたって、月に1回、事例の検討会を行い、当日までの準備を進めてきました。今年度は5～6年相当の勤務経験のある中堅職員が発表者となりました。発表者と内容は下表の通りです。

順番	タイトル	発表者	所属
1	ホーム利用者Sさんの歯磨き改善の取組み	赤見麗	ケアホーム RUN
2	長所を活かしてトライアル雇用から正規雇用へ ～社会で共存するために～	今泉智充	ワークセンター まえばし
3	Aくんとご家族の安心した生活のために	長井俊介	Kid's Club



〔「ホーム利用者Sさんの歯磨き改善の取組み」を発表している赤見麗さん〕（左写真）

昨年度からホームを利用しているSさんは、実家にいる間、一度も歯科通院をしたことがなかったそうです。ホームで通院をした結果、治療が間に合わず抜歯しなくてはならない歯があったそうです。「自分の歯は自分で守る。」イラストやタイマーを使っての支援が始まりました！

〔「Aくんとご家族の安心した生活のために」を発表している長井俊介さん〕（右写真）

Aくんは、家でも学校でもキッズでも、突然怒りだすお子さんでした。その原因も分からず…。そこで彼の行動の原因を探り、できるだけ取り除き、そして彼の気持ちに寄り添いました。彼の行動は変わりました。これまでの支援をまとめることにし、その資料を家族も見ることがあり、家での行動にも変化が見え始めているそうです。



どの支援方法も、その対象者の状態をよく把握しており、わかりやすい方法で、わかりやすいツールを使い、時には伝える時の環境への配慮やチーム全体で共通の認識を持ちながら、丁寧に支援している様子がうかがい知れました。

今後もこれらの支援を継続的に行い、彼らの生活や仕事に生かされるよう、創意工夫を重ねてほしいものです。

研修委員 関口 晃一

法人合同研修 Part③

各事業所エンパワメント事例発表会

午後の部では、各事業所における日頃の支援事例を発表しました。他の事業所で行っている支援事例を参考にして、各々の事業所の支援に活かしてほしいと思います。また、支援していた利用者さんが次のステージでステップアップした姿が見られてとても嬉しく感じました。

今年度はどこの事業所も力が入っていてとてもいい発表ばかりで、選考の結果2点が「谷口明広」賞に選ばれました。

第2回「谷口先生に褒められるで賞」

◇「送迎中の自傷行為を防ぐ対策について」 わーくはうす生活介護班 奈良知咲、関正樹

生活介護の利用者さんが送迎車の中で繰り返していた自傷行為を、利用者さん自身が嫌な思いをせずにとしたら自傷行為を防げるかを利用者さん目線で考えて、ご自身が好きな音楽を車内で聴くことができるように取り組んだ結果、自傷行為がなくなったことが高く評価されました。



◇「家族との連携でやりがいを感じながら働く」 ぴいす 布施祐子

県立女子大の清掃をしている利用者さんの挨拶ができない、指示通りに作業ができない等の課題に対して、障害による特性に配慮して、スタッフ全員が共通認識で働きかけを行うとともにご家族にも協力してもらい情報共有しながら共通認識で働きかけを行った結果、課題がクリアされたことが高く評価されました。

○「谷口明広賞」について



社会福祉法人すてっぴ設立時からすてっぴの理事としてご尽力くださいました故谷口明広先生の功績を称えるとともに、谷口明広先生の名前を末永く後世に遺したいというすてっぴの願いからこの「谷口明広賞」を設けました。受賞者には賞状と記念品(図書券とシュークリーム20個)が授与されました。

事業所	タイトル	発表者
総務課	総務のお仕事「開発許可申請」	高草木和美
生活支援センター	「私の暮らしは私が決めたい」～入所施設からアパートへ～	高橋さとみ
Little Kid's Club	「発達段階を捉えながら行う、生まれて初めて出会う支援」	猪熊智視
Kid's Club	「安心」が「自立」に繋がった Kid's club での5年間	植田礼菜
サービスステーション	「サービスステーションだからできる支援」～経験をサポートする～	小坂橋理恵
ヘルパーステーション	「聴覚過敏のある利用者の支援」	松嶋哲也
ワークセンター	「長所を活かし働く」	小竹敦子
わーくはうす	「目標に向かって大きな一歩」～生活介護事業から就労を目指して～	阿部明美
わーくはうす	「自分の意思で食べられるようになるまで」	富沢奈央
わーくはうす	「送迎中の自傷行為を防ぐ対策について」	奈良知咲、関正樹
わーくはうす	「仲間とともに最後まで過ごすために」	飯島健二
ぴいす	「家族との連携でやりがいを感じながら働く」	布施祐子
とらっぱ	「動物愛護センター 受けています！」	斉藤和美
RUN	「パニックしないで暮らしたい」～チーム支援～	鬼形朋宏

Kid's Club メンバー 募集中

学齢期を過ごす子ども達にとって、なくてはならない「放課後」は、家庭でも学校でもない環境の中で、子ども達が自分らしさを発揮し、心も体ものびのびと遊び、思う存分楽しく過ごす時間です。毎日が冒険だらけのワクワクドキドキの体験は子ども時代にしか味わえません。「放課後の時間」は、人が大人になるまでにどれだけ大切な時間かと私達は考えます。うまく遊べない、生活しにくさがある。そんな子ども達に、スタッフが一緒に遊んだり、気持ち良く生活できる方法を考え、子ども達の「楽しい」「嬉しい」気持ちを沢山作るお手伝いをします。大切に一人一人のお子さんに関わることで、人に安心を感じてもらいながら「子ども達の時間」を保証したいと思っています。

人と関わる中で、沢山の楽しい経験を重ねた子ども達は、自信に溢れた表情で卒業して行きます。

是非、一度見学にいらしてください。



すべての放課後活動は25年間培った支援スキルがあります。Kid's Clubで放課後を過ごした子ども達の中には、すべてのびいす（県立女子大の中で）で清掃の仕事を毎日、頑張っている方もいます。

生き生きとした子ども達に会う事が出来ます！

Kid's Club（放課後等デイサービス）

- ★活動日・・・月曜日～金曜日の5日間（できる範囲で学校送迎あり）
 - ★活動時間・・・13:30～17:30 ★学校休日活動、長期休み活動・・・10:00～16:30
 - ★利用料・・・例）一般収入のご家庭で月額上限4600円・おやつ代108円/1回・食事代432円/1回
- Tel/fax: 027-289-6162 管理者 服部 厚子まで

後援会費納入

ありがとうございました

女屋常治様・三重子様、
福島忠雄様、森川陽一郎様

ホーム建設基金

ご寄付ありがとうございました

土屋博正様

ご寄付ありがとうございました

柴崎妙子様 善方明子様 高橋厚子様 (有)ツ-オ-エ-アトリ-ツグ様 田中克己税理士事務所様
すてっぷ後援会様 鈴木孝様 今野みや子様 鈴木隆子様 坂柳幸子様 鈴木基司様

・わーくはうす すてっぷ	〒379-2164	前橋市東上野町 136 番地 1	TEL 027-290-6161
・社会就労センターびいす	〒379-2164	前橋市東上野町 136 番地 1	TEL 027-290-6161
・とらっば	〒371-0017	前橋市日吉町 2-17-10	TEL 027-219-2525
・ヘルパーステーションすてっぷ	〒379-2164	前橋市東上野町 136 番地 1	TEL 027-290-2233
・ケアホームRUN	〒371-0017	前橋市亀泉町 3-32	TEL 027-289-5605
・メゾンすてっぷ	〒371-0004	前橋市亀泉町 3-83	TEL 027-269-7444
・ケアホームすきっぴ	〒371-0004	前橋市亀泉町 3-41	TEL 027-288-0704
・わくわくハウス	〒371-0007	前橋市上泉町 338-1	TEL 027-289-8177
・ケアホームじゃんぷ	〒371-0007	前橋市上泉町 338-2	TEL 027-212-7730
・すまいるホーム	〒379-2114	前橋市上増田町 1852-5	TEL 027-289-5660
・前橋市障害者生活支援センター	〒371-0017	前橋市日吉町 2-17-10	TEL 027-236-0001
・ワークセンターまえばし	〒371-0017	前橋市日吉町 2-17-10	TEL 027-231-7345
・サービスステーションすてっぷ	〒370-3513	高崎市北原町 67-4	TEL 027-372-3456
・Kid's Club	〒379-2164	前橋市東上野町 136 番地 2	TEL 027-289-6162
・Little Kid's Club	〒379-2164	前橋市東上野町 136 番地 2	TEL 027-289-6162